

# 異業種からの医療機器産業への参入 ～製販企業のノウハウを活用した医工連携～

- 日 時 平成30年 8 月 2 日 (木) 13 : 30 ~ 15 : 30 (受付13:00~)
- 会 場 燕三条地場産業振興センターリサーチコア 6階 研修室  
(三条市須頃1丁目17番地)
- 定 員 50名

参加  
無料

## ●講 演 (13:35~14:45)

### 「医工連携を通じた無理のない医療機器への参入方法など」

講師：一般社団法人 日本医工ものづくりコモンズ 専務理事  
株式会社考える学校 代表取締役  
柏野 聡彦 氏

将来の有望産業として期待される医療機器産業。異業種から医療機器産業に円滑に参入するためのポイントの1つは、医療機器ビジネスを熟知した製販企業（いわゆる医療機器メーカー）と早めに連携することです。製販企業のもつ医療機器の市場と法規制に関するノウハウをフル活用する医工連携の進め方を「製販ドリブン」と言います。

講演では、製販ドリブンのコンセプトに基づき、「ものづくり企業がどのようにして製販企業と知り合うか?」、「地元の臨床ニーズからはじまる医療機器開発をどう進めるか?」という観点から、全国の最新の取組を交え、わかりやすくポイントを紹介します。



#### 《講師略歴》

1998年3月、筑波大学大学院理工学研究科修了。同年、総合シンクタンク入社（2016年4月退職）。医療機器産業に関わる多くの調査研究・コンサルティングを経験。2010年度には経済産業省「課題解決型医療機器等開発事業（現在のAMED医工連携事業化推進事業）」の事業管理支援法人として、本事業のスタートアップに携わる。

東京慈恵会医科大学ME研究室訪問研究員や東京大学大学院医学系研究科客員研究員などを歴任。2013年9月から一般社団法人日本医工ものづくりコモンズ 理事、2016年5月から同専務理事（現職）。2017年3月、株式会社考える学校 代表取締役（現職）。2018年4月、株式会社日本医工研究所 理事長（現職）。

最近では、医療機器特有の市場や法規制に関するノウハウを有する「製販企業」に注目し、製販企業とものづくり企業との連携による無理なく円滑な医工連携のかたち「製販ドリブンモデル」を提唱、全国各地の行政機関とともに製販ドリブンモデルの実践に注力している。

## ●燕市医療機器研究会の取組紹介 (14:45~15:05)

## ●平成30年度の新潟県の取組 (15:05~15:15)

## ●新潟県医療機器産業振興アドバイザーの活動紹介 (15:15~15:30)

### 【申込み・問合せ】

「参加申込書」にご記入の上、7月30日(月)までにFAX又はメールにて以下にお申込みください。

※手話通訳・要約筆記を希望される方は7月18日(水)までにお申込みください。

《問合せ先》新潟県 産業振興課 新分野育成係（新潟市中央区新光町4番地1）

TEL : 025-280-5718 / FAX : 025-280-5508 / E-mail : ngt050030@pref.niigata.lg.jp